

JASTROgram978

jastro-office@jastro.jp <jastro-office@jastro.jp>  
返信先: jastro-gram@jastro.jp

2017年11月9日



JASTRO-gram 978

Nov 9, 2017

JASTRO大阪便り vol. 1

「大会1日目の見所」

第30回学術大会の開催が目前となりました。

本年も、今回より3回に分けて、JASTRO第30回学術大会の見所や情報をお届けします。

会場は、JR大阪駅北側すぐに位置しますグランフロント大阪です。

都市中心部のため、JASTRO規模の学会ですと会場の配置が複雑になってしまいます。

慣れるまで、少々順路に迷われたりする可能性がございます。

発表を控えられた先生はお早めの会場への移動をよろしくお願いいたします。

困られた場合には、学会係員までお声掛けください。青いJASTROジャンパーを着用しております。

また、孤立するような会場については、足を運んでいただけるように企画を用意しております。

さらに今大会ではスマホ参加型セッションを準備しております。日程表で右上に円グラフマークがありますと、ご自身のスマートフォンにインストールしていただいた学会アプリから、インタラクティブセッションを選択してご参加いただくことが可能となります。是非、予めダウンロードをお願い致します。(http://www.congre.co.jp/jastro2017/myschedule.html)

今号では大会1日目(11月17日(金))の学術大会の見所を紹介します。

開会式・会長講演

8:30-8:50 第1会場

本学会のメインテーマは、「放射線腫瘍学の役割拡大:ビックデータ時代における挑戦」です。欧米との放射線治療適用率の較差をどのように改善し、質の高い治療をより多くの患者さんに届けるためにどうするべきかを我々のデータにもとづき議論し、考える機会としましょう。

特別企画1: 適応拡大1: 大腸癌フォーラム

9:00-11:0 第1会場

症例規模の大きい大腸癌に対して行われている、外科療法、化学療法についての講演をいただき、放射線療法の適応の新規拡大について検討します。同時通訳あり。スマホ参加型セッションです。

特別基調講演1: 「量子メス: 次世代量子線がん治療装置 ~がん死ゼロ健康長寿社会を目指して~」

11:10-12:00 第1会場

量子科学研究開発機構(QST)での次世代重粒子線治療装置(量子メス: Quantum Scalpel)の研究開発状況をご紹介します。それによるがん診療や社会の変化の可能性について言及していただきます。

特別基調講演2: 「National Cancer Database(NCDB): Past, Present and Future」

## 13:20-14:15 第1会場

海外からお招きした先生によるKeynote Lectureです。米国がん診療の情報系の要であり、すべてのがん診療認定施設要件となっているNCDBの責任者による特別基調講演で、最近のNCDBの著明な進歩についても報告いただきます。NCDBはわが国のNCDやJRODのモデルともなっており、そのデータ解析から多くの論文が報告されています。これからのビッグデータ時代にどう展開されていくのか、米国の現状、将来展望を伺う貴重な機会です。同時通訳を用意しています。

特別企画 2:「NCDB/NCD/JROD 戦略 日米がん情報系の現状と将来」: Cancer Informatics in Japan and USA

## 14:20-16:30 第1会場

特別基調講演2に引き続き、米国NCDB (National Cancer Database)の先駆者Winchester 教授をお招きし、

日本国内の各種がん登録の担当者と日米がん登録、がん情報系の現状と将来について議論します。同時通訳あり。

スマホ参加型セッションですので、会場の先生方からの積極的なご参加により、議論がよりよいものとなります。

## シンポジウム1「子宮頸部腺癌に対する放射線治療」

## 13:20-14:30 第2会場

子宮頸部扁平上皮癌に比べて難治性である腺癌に対する治療戦略を、手術、IGBT、重粒子線治療について詳細をご発表いただき、最適な治療法について議論します。

特別招待講演:「Clinical validation of proton therapy: The model-based approach and Rapid Learning Health Care」

## 14:40-15:30 第2会場

オランダ グロニンゲン大学からLangendijk教授をお招きし、オランダにおける陽子線治療開始にあたって策定されたmodel-based approachについてご講演いただきます。陽子線のみならず、IMRTなど各治療法を比較する際に、ランダム化比較試験に替わる評価方法として、大変興味深い内容です。同時通訳を用意しています。

## ワークショップ1 粒子線 systematic review と先進医療

## 15:20-17:20 第3会場

各領域における粒子線治療の現状、今後の課題などを明らかにしていきます。

## シンポジウム2「食道癌に対する治療戦略」

## 16:30-18:00 第2会場

集学的治療が必要となることが多い食道癌治療について、外科手術、従来の照射法から高精度照射の導入、陽子線治療についてご発表いただきます。

## Gold Medal 授賞式

## 16:40-17:20 第1会場

受賞者: 晴山雅人先生

「JASTROおよび放射線腫瘍学への関わり」

## 受賞講演

## 17:25-18:00 第1会場

梅垣賞: 尾池貴洋先生

「炭素イオン線治療を受けた腫瘍における複雑なDNA二重鎖切断の画像化」

## 教育講演

教育講演1「生物」 9:10-9:50 第2会場

教育講演2「前立腺癌」 11:20-12:00 第2会場

教育講演3「直腸肛門管癌」15:45-16:25 第2会場

## 指導者講習会 9:00-10:00 第5会場

## 注目の一般演題

査読の評価が高かった演題をピックアップして紹介します。

O1-3: 乳房外Paget病の放射線治療: 治療成績と予後因子の解析. 幡多 政治

希少疾患の乳房外Paget病41人の治療成績. 予後因子の解析もあり。

O3-1: 心臓原発悪性腫瘍に対する炭素線治療の生存への寄与. 岡田 徹

非常に予後不良な心臓原発悪性腫瘍に対する炭素線治療の可能性。

O4-1: 子宮がん重粒子線治療における直腸及び膀胱のNTCPパラメータ算出. 深堀 麻衣

子宮がん重粒子線治療症例の長期観察に基づく膀胱・直腸晩期障害のNTCPパラメータの算出報告は世界的にも稀であり、その結果は重粒子線治療の高度化に必須かつ重要である。

O6-1: 子宮頸癌に対する組織内照射におけるCTとMRIに基づく治療計画の比較検討. 柏原 大朗

より精細だが行いにくいとされているMRI-basedに対してCT-basedを用いる傾向にある現状で、MRI-basedの優位性を立証できる貴重なデータ。

O8-6: 限局性前立腺癌に対するI-125密封小線源永久挿入法後の直腸出血の検討. 平峯 慶子

前立腺癌小線源治療後の直腸出血に関して、後方視的研究ではあるが症例数も多く、診療に有用な情報を有している。

O11-1: 子宮頸癌腔内照射における鎮痛鎮静についての全国調査. 辻野 佳世子

全国調査による豊富な施設の鎮痛鎮静データ。今後の指針策定が待たれる。

O13-2: メタボロミクスにおける放射線消化管機能不全の指標の解明. 大須賀 彩希

外部刺激による代謝変化をマウスの空腸組織を用いて解析した研究。消化管障害の分子機序解明、放射線防護に繋がる事が期待される。

O21-1: 正常脳の正常組織障害発生確率を用いた悪性神経膠腫に対するVMATの適応基準の検討. 高橋 春奈

VMAT照射の臨床的な適応について、NTCPIに基づいた解析により明確な指標をしめした有益な研究結果

日本放射線腫瘍学会第30回学術大会

プログラム委員長

鈴木 修

“毎日一度は <http://www.jastro.or.jp/> を訪ねましょう”

JASTRO 広報委員会(担当: 染谷)